



CASBEE横浜2017年版v.1.3  
 ミオカステール横浜館見

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.3

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		<b>Q 建築物の環境品質</b>								
<b>Q1 室内環境</b>										<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.2</b>
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				3.0	0.50	3.6	0.50			-
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	5.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				3.0	-	3.0	-			-
<b>2 温熱環境</b>				-	0.35	3.0	1.00			<b>3.0</b>
2.1 室温制御				-	-	3.0	1.00			-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	-	-	3.0	1.00			-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	-	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-			-
<b>3 光・視環境</b>				3.0	0.25	3.0	1.00			<b>3.0</b>
3.1 昼光利用				3.0	0.43	3.0	0.50			-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	3.0	0.50			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				-	-	3.0	0.50			-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	3.0	1.00			-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.21	-	-			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.36	-	-			-
<b>4 空気環境</b>				3.6	0.25	3.6	1.00			<b>3.6</b>
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38			-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	1.00	3.0	0.33			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	-	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	-	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	-	-	-			-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-			<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>				3.1	0.40	3.0	1.00			<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	-	3.0	-			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	-	3.0	1.00			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	-	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	3.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				3.2	0.30	-	-			<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性	防災		⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防災		⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 電気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
<b>3 対応性・更新性</b>				3.0	0.30	2.8	1.00			<b>2.8</b>
3.1 空間のゆとり				-	-	2.6	0.50			-
1 階高のゆとり				3.0	-	3.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ				3.0	-	2.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.3

ミオカステロ横浜鶴見

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.3

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-	
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-			3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				2.5	0.30	-	-			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-			-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-			3.4
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-			3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-			4.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-			3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	4.4	0.50	-	-			4.4
<b>4 効率的運用</b>				3.0	0.20	-	-			3.0
		集合住宅以外の評価		-	-	-	-			-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-			-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-			-
		集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-			-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-			2.9
<b>1 水資源保護</b>				3.4	0.20	-	-			3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-			-
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-			-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				2.8	0.60	-	-			2.8
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-			-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				3.0	0.20	-	-			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-			-
1	消火剤			-	-	-	-			-
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-			-
3	冷媒			3.0	0.50	-	-			-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-			3.3
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				4.5	0.33	-	-			4.5
<b>2 地域環境への配慮</b>				2.5	0.33	-	-			2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-			-
2	污水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
<b>3 周辺環境への配慮</b>				3.0	0.33	-	-			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1	騒音			3.0	1.00	-	-			-
2	振動			-	-	-	-			-
3	悪臭			-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-			-
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	-			-
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-			-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-			-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-			-
<b>上記以外の重点項目</b>						-	-			-
<b>&lt;事務用途&gt;</b>						-	-			-
	知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-			-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>						-	-			-
<b>健康と安心</b>						-	-			-
1	化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-			-
2	適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-			-
3	結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-			-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-	-	-			-